



豊田中学校 学校だより

# 豊田の里

平成30年11月27日

第10号

発行 豊田中学校

## 校長講話「広島・ベトナム報告を聞いて」 ～未来につながる、世界に広がる学びを～

広島研修の報告をしてくれた青山もえさん、発表を手伝ってくれた齋木陽菜さん。

ベトナム研修の報告をしてくれた米田 朱里さん、鈴木 颯人さん。ありがとうございました。本当にいい経験をしてきたと思います。一番学ぶことができたのは、もちろん参加した3名ですが、それを全校生徒に広めてくれたことに感謝します。

なぜなら、人は知らないものにはなかなかないからです。志の一つである、将来の目標について言うと、知らない職業はなかなか目指せません。知らない土地へはなかなかたどり着くことができません。もしかしたら、何となく着いてしまうこともありかもしれませんが、適当に歩いていたらエベレストや富士山の頂上にたどり着いていた、なんてことは絶対ありません。

広島のこと、ベトナムのことを、今日みんなは知ることができました。3人の報告のおかげで、何人かは、行ってみたい、体験したいと思ったかもしれません。

つまり、何を言いたいかというと、多くのことを知りましょう。多くのことに興味をもちましょう。そうすることであなたの世界は広がります。その広がった世界の中に、君たちの未来があるのです。知らなければ、狭い世界に留まり、狭い世界の中で生きていくことになります。その中では、自分のよさを十分に発揮できるかわかりません。広い世界を知ること、自分に合った仕事や生き方を見つけ出すことができるのです。

各教科の学習も、その教科を通して、君たちに知らない世界を見せてくれているのです。大いに勉強しましょう。大いに本を読みましょう。いろいろなことに興味をもちましょう。知らないことに出会ったときこそ、世界を広げるチャンスです。知らないことに出会ったとき、そこから逃げるのではなく、ワクワクしながらそこに挑戦していく。そんな生徒であってほしいと願っています。

合唱コンクールが終わり、今週から第IV節。テーマは「学び・充実」です。未来につながる、世界に広がる学びを、実践していきましょう。

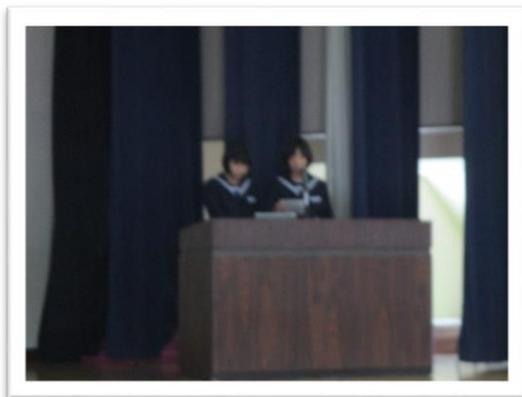
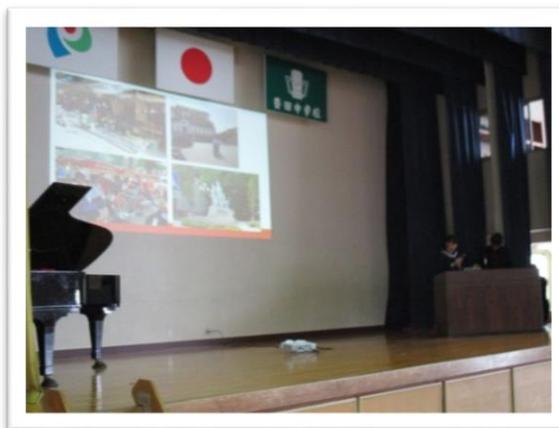
## ～あなたの「志の登山ガイドブック」は？～

11月から第IV節「学び・充実」の期間となりました。今の自分は、「しっかりと学び、充実した日々を送る」ことができていますか？

合唱コンクールで本校3大行事も終わり、期末テストも終わり、ホッとしていて、今の校長先生の質問にも、「しっかりと学べていないかも、毎日充実しているとは言えないかも」と思っている生徒も多いかもしれません。

今日は、「学び・充実」ひいては「志」のため、参考となる話をしたいと思います。

登山をしたことはありますか？富士登山に例えて話します。富士山に登るには、吉田ルート、富士宮ルート、須走ルート、御殿場ルートの4つがあります。私は、8年ほど前に富



士宮ルートから登りました。もちろん、ガイドブックを参考に、準備を整えて登山しました。これらのルートは、先人たちが苦労しながらつくってくれた道で、一定の安全と確実性が確保されています。確実性というのは、「この道を行けば、確実に頂上までいけますよ」ということです。富士登山をする人は、ほぼ全員がこの4つのルートのどれかを利用して登山をします。これ以外の道を行こうとする人がいるのでしょうか？もしかしたら、いるかもしれません。もっと安全で負担のない道を探そうとか、誰も歩んだことのない道を進んでみたいとか。でも、それは頂上にたどり着くことができるかわからない、どのくらいの時間がかかるかわからない、とてつもなく大変な道のりであることは覚悟しなくてはなりません。

さて、これを皆さんの志、特に目標の部分に当てはめてみましょう。皆さんの立てている目標のほぼすべてには、目標を達成するための登山ルートが示されています。勉強の目標には、教科書や参考書、その他ノートの使い方や記憶の仕方などあらゆる本が出ています。スポーツにも、各競技の入門書、専門書や雑誌などができています。職業についても同様です。「〇〇になるには？」といったタイトルのシリーズ本も出ています。どれも、その道の専門家が自分の経験や多くの資料などをもとに、根拠をもって書いていますから、信頼に足るものです。

場合によっては、それが本ではないときもあります。例えば、人。心から信頼できる人がいて、アドバイスや助言をいただくことも大切なことです。常に、その人の生き方や言葉を大切にし、時に自分の生き方や行動を見ていただいたり、相談に乗っていただいたりする。そんな人がいることは、人生において本当に幸せなことだと思います。だから、本校では、外部の人を招いたり、体験を重視したりして、多くのこととの出会いを大切にしています。

本当に目標を達成したいのであれば、これらの教科書やガイドブック、人などを参考にしない手はありません。逆を言えば、参考にしない人は、本気で目標を達成する気持ちにはなっていないとも言えます。自ら登山道を切りひらく方法もありますが、それならば相当の覚悟が必要ですし、それほどの覚悟であれば、すでに行動に表れているでしょう。

さて、皆さんの目標に対する教科書や信頼できる人、ここでは「志の登山ガイドブック」と言っておきます。それは何ですか？そして、持っていますか？

まだ、自分の「志の登山ガイドブック」がないという人は、早くそれを見つけ、大切にしましょう。大切にするというのは、全面的に信頼するということです。あるガイドブックを手にしたけど、ちょっとうまくいかなかったからといって、すぐに投げ出したり、他に乗り換えたりするのは、あまりよくありません。なぜなら、何事も成果がでるには時間がかかるからです。つまみ食いを繰り返しては、よいガイドブックであっても成果は期待できません。もちろん、ガイドブックに従った行動をしなければ効果が出ないの言うまでもありません。

大切なことは、「志の登山ガイドブック」つまり、本なり人なりを全面的に信頼し、行動を積み重ねることです。

第IV節「学び・充実」の参考になったでしょうか？実は、第IV節には、大きな行事が終わり、じっくりと自分に向き合うことも含め、「学び・充実」としているのです。

ぜひ、皆さんが自分の「志の登山ガイドブック」を持ち、目標に向かって着実に登り続けることを期待しています。



服のチカラプロジェクト



～赤い羽根募金の助成をいただいています～

本校では、磐田市社会福祉協議会より「赤い羽根共同募金」の助成金をいただき、生徒の福祉教育に役立てています。皆様から御協力いただいた募金は、学校でも役立てられています。